

企業名：メタウォーター

レポート名：メタウォーターレポート 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

大まかに水関連の設備を整え環境やインフラの持続に貢献することが目標である、と理解できる。より具体的な形として、事業を通じた環境貢献や環境保全活動の推進を行う環境への取り組み。包括化・広域化に対応する独自の仕組み構築や機電癒合を核としたソリューション技術の提供を行う事業活動。事業を通じた社会貢献や働き方改革のさらなる推進を行う社旗の取り組み。そしてコーポレートガバナンスの強化。この4つを柱として企業価値の拡大を図り、社会・地球環境に貢献しSDGsに寄与することが目指す姿である。これはメタウォーターレポート 2021 にわかりやすい表があり非常にわかりやすいものになっていた。



出典：メタウォーターレポート 2021

2. この会社の競争優位性が理解できるか

統合報告書によると、メタウォーターは水・環境インフラの持続に関してや、企業の成長、人事育成、すべてにおいて中長期的な戦略をとっている点はこの企業の競争優位性になっていると考えられる。また、日本の上下水道処理市場で長きにわたって培ってきた実績と経験。そして、「セラミック膜ろ過装置」や「オゾン発生装置」、コンパクトで移設可能な洗浄設備「CPCM」などの独自で開発し提供している点も強みの一つである。これらを基盤とした各国の法規制や外部環境の変化に追従する提案力及び開発力も魅力である。さらに現地に根差し、実績豊富で業界からの信頼が厚い海外事業会社を子会社として保有する点は環境という日本だけでは影響力が足りない部門を扱う上では大きな利点である。メタウォーターでは働き方改革を企業競争力の要としている。個々の活躍を支援する取り組みとして社員教育及び研究費の充実や、女性社員の活躍支援の点で最高位のえるぼし3段階目を獲

得し、産休育休の取得率及び復職率向上など結果も残している。また健康増進として健康管理体制の充実やメンタルヘルスケアの取り組みなども盛んである。しかし私の考えではこの人人財に対するアプローチはごく当たり前のことであまり競合優位性にはならないのではないかと感じた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

これにおいてもメタウォーターは戦略において中期的な戦略をとっている点から持続性はあると考えていいだろう。独自技術である「セラミック膜ろ過システム」は長寿命であり、省エネルギーでろ過を行うことができ、廃棄物の低減にもつながっている。独自技術が持続できるとことは競争優位性に持続性があるとみなしてもよい点だろう。働き方改革も持続性にかかわる大きなポイントである。現在のコロナパンデミックを踏まえてテレワークの取り入れや、単身赴任を解除するなど臨機応変な対応ができる点は持続性につながるだろう。しかし、企業競争力の要としている割にはあまり魅力的ではなく、もっと多くのものを社員に提供すべきなのではないかと感じた。

メタウォーターの根幹である水・環境の持続性に関しては、持続性のある独自の技術を用いることや、省エネが可能な技術を用いて環境負荷低減への取り組みを行っている点はかなり優れているので、競争優位性に持続性があると私は理解できた。また、自然災害が増えていこの世間では水道の整備や、環境への対応は必ず必要になることであるので、今の新たな技術を積極的に用いる姿勢や、復旧作業にも現場にすぐ入り復旧の早期達成に貢献しているところは今後もこの企業の魅力になるであろう。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

働き方改革を掲げているため、社内に多様性が認められているため人として成長できるだろうし価値向上は図れるだろう。また、SDGs アンバサダーチーム(SAT)が結成され若いうちから社内外に向けて会社が行う SDGs を PR するというプロジェクトがありこれは自分の人的資本向上に確実につながるはずだろう。一方で、それぞれがどのような功績をのこしたかがあまり記載されておらず、行っていることも企業単位で行っていることや最新技術のことについてばかりである。本当に社員一人一人に成長するチャンスが与えられ人的資本向上を達成できるかには疑問が残る。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

新しい技術を多く採用し、そのメカニズムや見た目などは分かりやすく記載されていたが、それがどのような効果がありどれだけのメリットを生み出すことができるのかを強調すべきだと感じた。

人が最大の財産と掲げている企業の割には、メタウォーターにしかない社員へのアプローチや支援などが見受けられなかった点には改善余地があるだろう。

今回の統合報告書を読んで、31 ページから 56 ページのフォントはかなり見やすく読みやすかった。こういったわかりやすい部分を前半に持ってくることで読む側としてもとつきやすいものになるだろう。また、全体的に一定の形で記載していることが多くどこが大事なかがわかりづらく、もっと細かいところまで読みたいという感情にはならなかった。